

平成24年度西海ブロック水産業関係研究開発推進会議
地域増養殖研究部会報告書

会議責任者	西海区水産研究所長
-------	-----------

1. 開催日時・場所 日時：平成24年11月16日（金） 9:30～12:30
場所：長崎商工会議所
2. 出席機関及び人数 7機関 30名
3. 結果の概要

議 題	結果の概要
1. 開会	西海区水産研究所資源生産部長が開会を宣言した。
2. 挨拶	西海区水産研究所長から、増養殖を含む沿岸漁業を取り巻く状況が総括され、部会での活発な論議を期待する旨の挨拶があった。
3. 座長選出	資源生産部長及び亜熱帯研究センター長を座長として選出した。
4. 議事	亜熱帯研究センター長が議事2)の座長を、資源生産部長がその他の議事の座長を務めた。
1) 研究開発の実施状況	各機関が登録・提出した平成24年度研究開発課題のうち、増養殖（有明海のノリを含む）及び沿岸漁業に関する課題について出席者が紹介し、質疑が行われた。
2) 水産研究開発成果情報の審議	平成24年度水産研究開発成果情報について、西海ブロックに登録済みの増養殖・沿岸漁業分野4課題を各提出機関の出席者が説明し、内容を協議した。その結果、「人工基質を使用したアコヤガイ天然採苗手法の開発」（福岡県）、「養殖ノリの新品種（佐賀4号）の開発」（佐賀県）、「海上施設での中間育成におけるクロマグロ人工種苗の衝突死の発生頻度」（まぐろ増養殖研究センター）、「人工飼育下におけるクエの成長と成熟特性の把握」（資源生産部）の4課題全てが西海ブロックの成果情報として承認された。

<p>3) 研究会等報告</p>	<p>資源生産部の藻類グループ長から、今年度から地域増養殖研究部会のもとで活動を行うことになった「全国ノリ研究会」(9月5日開催)についての報告があった。平成23年度の秋芽網の状況については、いずれの生産県からも秋口の高温の影響で不作であったことが報告された。また、次年度以降も全国規模の研究会として、東京以西での開催を検討したいとの説明があった。9月6日に全国ノリ研究会にあわせて開催された「ノリ養殖品種の特性に関するシンポジウム」(海苔増殖振興会との共催)についても紹介があった。</p> <p>亜熱帯研究センター長から、「沖縄県水産海洋研究センター・栽培漁業センター・亜熱帯研究センター交流会」(10月30日開催)について、各機関から計8題の話題提供があり活発な議論が行われたことが報告された。</p>
<p>4) 研究開発ニーズへの対応</p>	<p>水産総合研究センター研究推進部研究開発コーディネーターから、地域の抱える懸案事項として平成23年度全国推進会議に提出された「海域別磯焼け対策意見交換会の開催」について、その経緯と対応の説明があった。西海ブロックとして具体的な対応について協議した結果、「磯焼け対策全国協議会」に加え、九州・山口ブロック水産試験場長会傘下の「磯焼け・藻場造成分科会」が既に存在し(西水研も当初から参加)活発に活動が行われていることから、地域別の新たな意見交換の場は必要なく、従来通り「磯焼け・藻場造成分科会」を開催して情報を交換して行くことで意見が一致した。ただし、必要に応じて他ブロックの情報交換会に参加できるよう、開催案内を西海ブロックの各県にも送付することとした。</p>
<p>5) その他</p>	<p>特になし</p>
<p>5. その他</p>	<p>西海ブロック水産業関係開発推進会議の枠組み、同運営細目、同地域増養殖研究部会運営細目、西海区水産研究所の組織細目(水研センター組織規定より抜粋)を資料として添付した。</p>
<p>6. 閉会</p>	<p>西海区水産研究所資源生産部長が閉会を宣言した。</p>